

2026年(令和8年)8月23日(日曜日)

「ロボット教室および大館
カップ2026大会」が22
日、大館市の秋田職業能力開
発短期大学で開かれた。小

ロボット「最後まで走れ」

プログラミング 大館杯

小中学生25人が競う



中学生25人がプログラミングを駆使してロボット操作を競った。

大館商工会議所や同校などで構成するおおだてロボット人材育成コンソーシアム(藤盛公之委員長)が主催。市内の子どもたちがロボットプログラミングを通して、地域の

ものづくり人材へ成長することなどを目指して実施している。今回で14回目。初級と中級に分かれて行われた。

初級は二つの車輪がついたロボットが五つのコースを脱走しないで行き、ゴールに到達できるかを競った。参加者は失敗すると悔しそうな表情を浮かべ「もう一回」。それでも失敗した場合は、パソコンを使ってプログラミングを再調整。最後まで到達するとガッツポーズをして、次のコースの準備を進める。……

ロボットの動きを見守る参加者(秋田職業能力開発短期大学校)

めた。

中級は、センサーと二つの車輪のほか前方に鉄球がついたロボット。黒い線に沿って走り、指定された場所で停止したり、後進できるかを競った。

大会前にはロボット教室を実施。同校教員が講師となり、パソコンでロボットに指示を送る方法を伝えた。

虹川優志さん(川口小5年)は「昨年初級に参加して面白かったので、今年は中級に参加した。今後もプログラミングを勉強できれば」と話した。結果は次の通り。

▽初級 ①五十嵐翔生(早口小5年) ②中村優之介(城南小3年) ③佐々木陽向(国際中2年)

▽中級 ①山下春輝(大館東中1年) ②大黒暖人(有浦小6年) ③兜森凜(国際中2年)